



医療・福祉 / SDGs 3,4

幼児期に発達障害傾向を検査するスクリーニングツール

No.2

大学院医学研究科 神経精神医学講座

准教授 斉藤 まなぶ(さいとう まなぶ)

URL: <http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~psychiat/>

技術概要

- 多人数から発達障害傾向にある対象者を精度よく絞り込むスクリーニングツールを開発(特開 2020-156803)。
- スクリーニングツールは、既存の発達障害スクリーニング尺度を用いますが、独自のカットオフ基準を設けた抽出プロトコルに特徴がある。
- 開発したスクリーニングツールは、既存方法に比べて精度を約 2 倍向上させることができた。



想定される活用例

- 自治体や病院などで、発達障害支援を実施している機関での活用
- 教育分野の企業で子供の特徴を把握するツールとしても活用可能

相談可能な分野

- 子供を中心とした神経発達障害分野
- 幼児教育分野

問合せ先

国立大学法人弘前大学

(産学連携)研究・イノベーション推進機構 E-mail ura@hirosaki-u.ac.jp

(特許)研究推進部 研究推進課 知的財産担当 Email chizai@hirosaki-u.ac.jp